

「(仮称)朱雀こども園」 について②



【日時】 平成28年12月 3日（土） 午前 9：30～

【場所】 朱雀保育園 リズム室

奈良市子ども未来部
子ども政策課

本日の説明会の内容

- ① 幼保再編とは
- ② 「市立こども園」とは
- ③ （仮称）朱雀こども園への再編について
- ④ 朱雀幼保再編委員会の設置について
- ⑤ 委員会での協議を受けて（園舎の活用）
- ⑥ 委員会での協議を受けて（整備内容）
- ⑦ 保育園舎と幼稚園舎間の通園路について
- ⑧ 設計・工事の期間について
- ⑨ きょうだい関係がある場合の送迎（案）について
- ⑩ 今後の取り組みについて

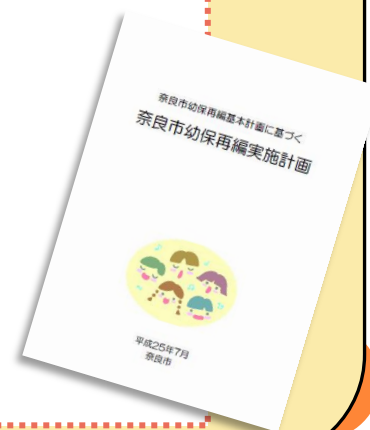


① 幼保再編とは [計画]

本市では、市民の皆様がこれからもずっと、「本当に安心して子どもを生み、育て、子育てに大きな喜びを感じることができる」環境づくりのため、全ての市立幼稚園と市立保育園をあらゆる手法を用いて再編し「幼保連携型認定こども園」に移行することを計画的に進めています。

市立こども園一覧

H 21 . 4	「富雄南」	
H 22 . 4	「都祁」	
H 24 . 4	「左京」	
H 26 . 4	「青和」	・「都跡」
H 27 . 4	「帯解」	・「月ヶ瀬」
H 28 . 4	「布目」	・「柳生」



※私立認定こども園は、平成28年度現在5園

① 幼保再編とは [背景・課題]

背景

- 急激な少子化の進行
- 教育・保育ニーズの多様化

課題

- 市立幼稚園の園児数の減少
- 保育園の待機児童
- 市立幼稚園、市立保育園の施設の老朽化

再 編

実施

- ⇒ 適切な集団規模での教育・保育
- ⇒ 希望される幼稚園利用、保育園利用ニーズを踏まえた量の確保
- ⇒ 様々な教育・保育ニーズに応えることができる施設運営

幼児教育・保育や子育て支援をこれまでより一層充実させていく必要があるが、市の財政状況が厳しいのも事実・・・

① 幼保再編とは [進捗状況]

平成27年3月に続き、平成28年8月にさらなる再編計画を公表しました。

市立こども園移行計画（H29～30年度）

[現状]

東市幼稚園	高円保育園
神功幼稚園	神功保育園
右京幼稚園	

[平成29年4月]



(仮称) 高円こども園
(仮称) 神功こども園

[平成30年4月]

鼓阪北幼稚園	若草保育園
登美ヶ丘幼稚園	東登美ヶ丘幼稚園
朱雀幼稚園	朱雀保育園
平城西幼稚園	平城幼稚園

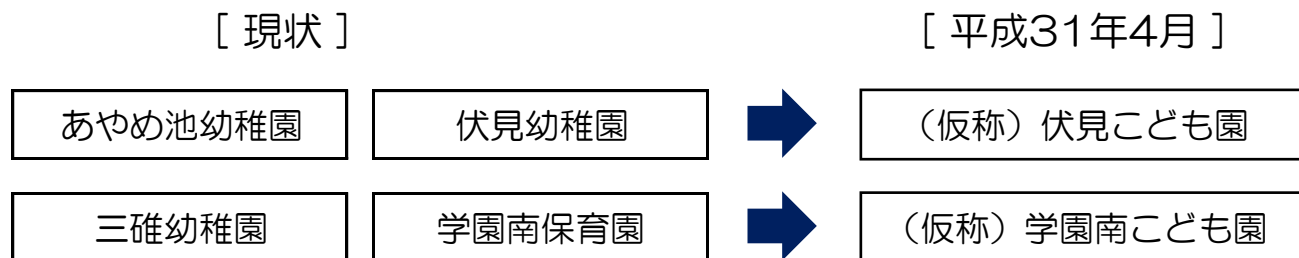


(仮称) 若草こども園
(仮称) 東登美ヶ丘こども園
(仮称) 朱雀こども園
(仮称) 平城こども園

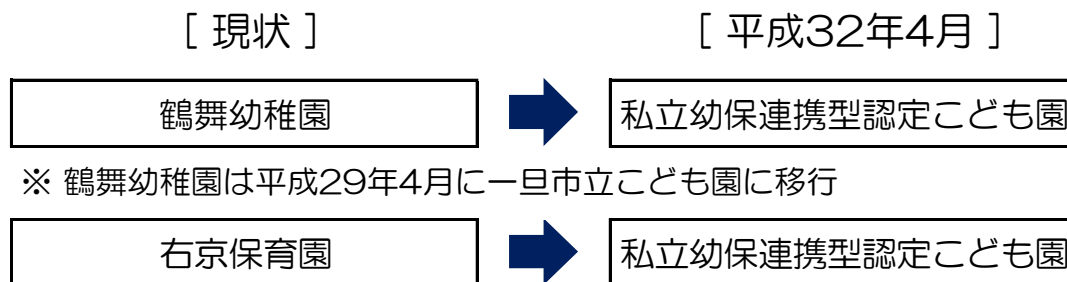
① 幼保再編とは [進捗状況]

平成27年3月に続き、平成28年8月にさらなる再編計画を公表しました。

市立こども園移行計画（H31年度）



民間移管・こども園移行計画（H32年度）



②「市立こども園」とはーⅠ

長い歴史の中で、子どもや保護者と手を
たずさえながら培ってきた奈良市の教育・保育

市立幼稚園

市立保育園

再編による幼保一体化

「市立こども園」
(幼保連携型認定こども園)

教育・保育を
一体的に提供

地域における
子育て支援



年齢別提供サービス



保育を必要
としない

保育を必要
とする

3～5歳
就園児

教育・保育

延長利用

給 食

0～2歳
就園児

教育・保育

延長利用

給 食

未就園児

親子登園や子育て相談
担当職員を各園配置

市立こども園のカリキュラムについて

奈良市では、より充実した教育・保育の実施のためにすべての市立園の先生
が力を合わせて「奈良市立こども園カリキュラム」を作成し実践しています。

②「市立こども園」とは-Ⅱ

こども園の基本的な1日のながれ イメージ図

時間	[3号認定] 保育園的な利用の 0・1・2歳児	3・4・5歳児	
		[2号認定] 保育園的な利用	[1号認定] 幼稚園的な利用
	[開園]		
7:30	順次登園	順次登園	
9:00	保育	登園	
	昼食（給食）	教育・保育 （共通利用）	
	午睡	昼食（給食）	
14:00	保育	教育・保育 （共通利用）	
	順次降園	（午睡）	降園
17:00		保育	延長利用
18:30		順次降園	
	[閉園]		

※時間は
目安です。

【共通利用時間】

年齢ごとに学級で活動し、全員が一緒に遊んだり給食を食べたりします。



みんなで食べる
給食はとっても
おいしいよ！

②「市立こども園」とは-Ⅲ まとめ

👉 教育・保育環境の充実

移行を機に施設改修を実施し、環境改善を図ります。また、幼稚園教諭・保育士資格の両免許を持つ職員がカリキュラムに基づき教育・保育を実施します。

👉 3歳児以上は就労状況等に関わらず施設の利用が可能

1号認定利用・・・3歳児より入園が可能になります。また、入園後に就労等を始めた場合でも、認定区分を変更することで継続して通園できます。

2号認定利用・・・入園後に就労等を辞めた場合でも、認定区分を変更することで、継続して通園できます。

👉 預かり保育の拡大、給食の実施（1号認定）

幼稚園的な利用(1号認定)の場合でも、延長利用が利用可能で、給食の提供も行います。

👉 子育て支援の充実

園に通っていないお子さんや保護者でも、未就園児親子登園や子育て相談等の利用が可能です。

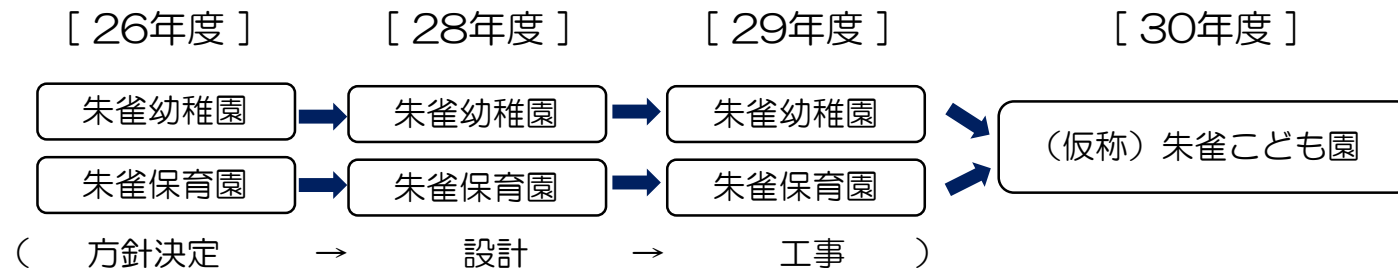
③（仮称）朱雀こども園への再編について

再編方針

「奈良市幼保再編実施計画」に基づき、『朱雀幼稚園』、『朱雀保育園』を再編し一体化することで、「市立こども園」へ移行します。

移行目標年・スケジュール概要

平成30年4月からこども園への移行を目標とします。



④ 朱雀幼保再編委員会の設置について

幼保再編委員会について

【設置経緯】

平成28年6月25日開催の地域ミーティングにおいて朱雀自治連合会と奈良市長との間で合意があり、（仮称）朱雀こども園への移行に向けたプロジェクトチームとして、以下の委員からなる朱雀幼保再編委員会が設置されました。現在まで4回の委員会を開催し、移行に向けた種々課題等について積極的な議論を重ねてきました。

【委員構成】 委員長 朱雀自治連合会長 副委員長 子ども政策課長

（地域関係者）

朱雀自治連合会
朱雀幼稚園PTA
朱雀保育園保護者会
朱雀小学校PTA
朱雀小学校バンビホーム保護者会
朱雀地区社会福祉協議会
朱雀地区万葉青年クラブ連合会
朱雀のまちづくりを考える会

会長・事務局長
会長・副会長他
会長・副会長他
会長
会長
会長
会長
事務局

（市関係者）

朱雀幼稚園 園長
朱雀保育園 園長
朱雀小学校 校長
子ども政策課 課長他

【協議内容】

7月19日 第1回委員会開催	園舎の活用・改修方法や送迎・駐車場等について
↓	
8月15日 要望書（1回目）の提出あり	施設整備や送迎・駐車場等について
↓	
8月27日 第2回委員会開催	要望書（1回目）について回答
↓	
9月15日 要望書（2回目）の提出あり	施設整備について
↓	
9月24日 第3回委員会開催	要望書（2回目）について回答
↓	
11月11日 第4回委員会開催	前回委員会からの進捗状況等について

⑤ 委員会での協議を受けて（園舎の活用）

朱雀幼稚園舎と朱雀保育園舎の活用について

朱雀幼稚園舎と朱雀保育園舎の両園舎を使用する「分園方式」でこども園に移行します。

概要

[活用内容]

- 朱雀保育園舎：
主に0～2歳児及び
子育て支援利用園舎（乳児棟）
- 朱雀幼稚園舎：
主に3～5歳児利用園舎（幼児棟）



⑥ 委員会での協議を受けて（整備内容）- I

朱雀幼稚園舎（幼児棟）の整備内容について

<保育室等>

- ・保育室及びリズム室の床等の美化や空調設置などの環境改善



<トイレ>

- ・園児・大人用トイレは全面改修（床の乾式化、便器の洋式化等）

<園舎>

- ・図書室を本来の用途である保育室として活用するため、リズム室やリズム室横のスペースを活用し図書コーナーを設置
- ・保健室等の雨漏り解消のため屋上防水の改修を実施等



<園庭等>

- ・プール槽の改修や、プールサイドの張替え等を実施等
- ・3～5歳児への給食提供のため給食調理室の設置を予定

※改修内容は、園職員、工事担当課、設計業者と現在も検討を重ねています。また、実際の改修内容は来年度予算額が議会で承認されるまで確定しません。今後詳細が決まり次第お知らせしていきます。

⑥ 委員会での協議を受けて（整備内容）-Ⅱ

給食調理室の増築（案）について

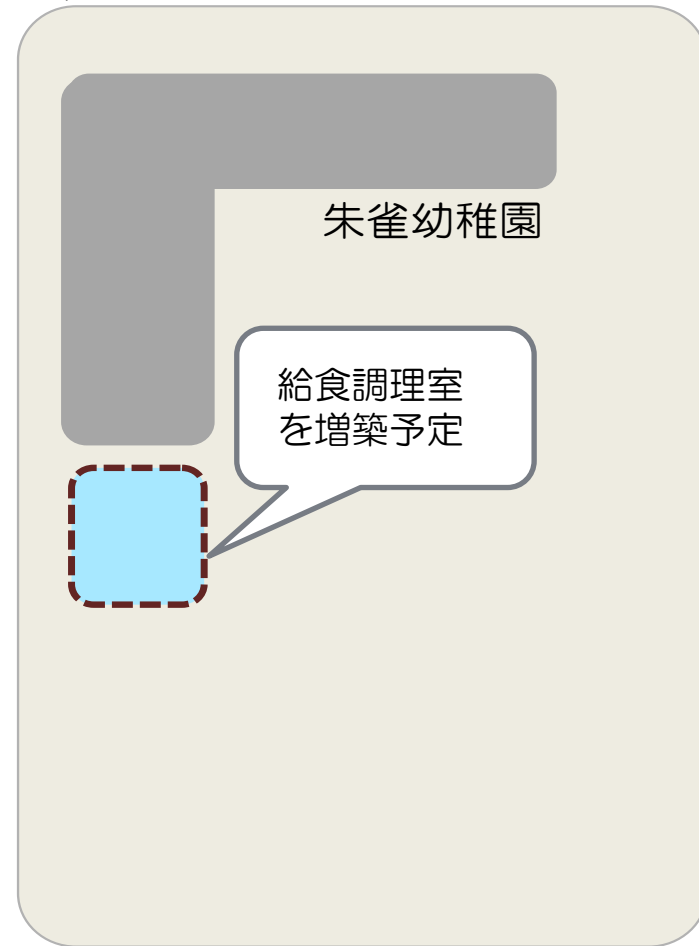
○現状

朱雀幼稚園は、こども園移行後に3～5歳児が生活する幼児棟となりますが、現状の園舎には、給食調理を行う設備がありません。



保育園舎から運搬することや既存施設を改修することによる給食調理室の整備なども視野に入れた検討をしてきましたが、委員会における協議を受け、こども園移行に向けて、幼稚園舎南側に給食調理室の増築設計を実施中です。

増築イメージ図



⑥ 委員会での協議を受けて（整備内容）-Ⅲ

朱雀保育園舎（乳児棟）の整備内容について

<保育室等>

- ・ 保育室及びリズム室の床等の美化などの環境改善



<トイレ>

- ・ 園児用トイレは全面改修（床の乾式化、便器の洋式化、沐浴用のシャワーや汚物流しなどの更新、開き戸を引き戸に改修等）

<園舎>

- ・ リズム室棟を屋上防水し、ビニールプール置き場としても活用できるように整備
- ・ 園の西側にある正門が職員室から人の出入りが見えにくいため、新たに園の南側に正門を設置等



※改修内容は、園職員、工事担当課、設計業者と現在も検討を重ねています。また、実際の改修内容は来年度予算額が議会で承認されるまで確定しません。今後詳細が決まり次第お知らせしていきます。

⑦ 保育園舎と幼稚園舎間の通園路について-I

保育園舎と幼稚園舎間の通園路整備の検討状況について①

現状の保育園舎と幼稚園舎間の通園路



1.課題

現在保育園へ自動車で送迎される場合、平城東公民館の駐車場を利用させていただいていますが、こども園移行後に平城東公民館から幼稚園舎への送迎時間短縮が課題となっています。



2.検討事項

送迎時間短縮を検討していく中で、朱雀幼保再編委員会にて
(1) ならコープ朱雀店駐車場の活用①
(2) ルート短縮案②・③・④
について検討を実施

(1) ならコープ朱雀店駐車場の活用①



(1) ならコープ朱雀店駐車場の活用①

ならコープ朱雀店駐車場の活用①について意見があり、現在開店前（午前9時までの）の時間帯で、ならコープ朱雀店の駐車場を利用できないか、ならコープ本部と協議しています。

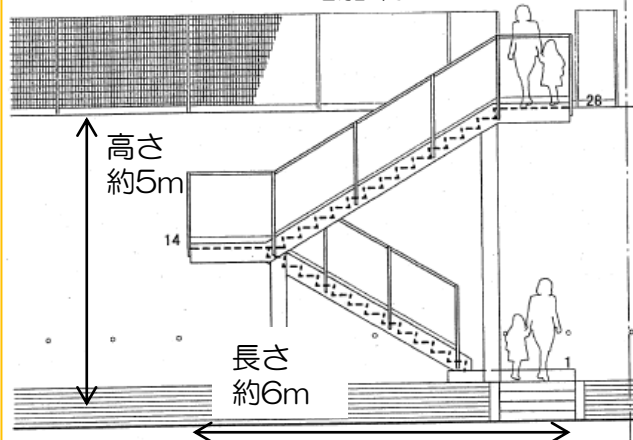
⑦ 保育園舎と幼稚園舎間の通園路について-Ⅱ

保育園舎と幼稚園舎間の通園路整備の検討状況について②

(2) ルート短縮案②・③・④



階段設置イメージ図 段数 32段 1段15cm
距離 約20m



(2) ルート短縮案②・③・④

○検討状況

・②について

ならコープ朱雀店の敷地を通園路として活用することについて、ならコープ本部と協議を行いました。特に開店前の時間帯は搬入車両の出入りが多く危険であるとのことでした。

・③について

平城東公民館敷地から遊歩道への階段を設置した場合、現状の通園路を利用した場合との距離を比べたところ、現状よりおよそ50mの短縮が図れます。しかし、階段部分の昇降時間を考慮した場合、時間的にはさほど変わらないと考えています。

・④について

遊歩道から幼稚園舎への出入り口を設置することにより、保育室までの通園時間を短縮することができます。



○朱雀幼保再編委員会での意見

③について、階段の材質が鉄骨で屋根がないため、雨の日などの安全面、設置費用や将来にわたっての維持管理が必要となるなどの課題が出てきました。そのため、階段設置の費用を園舎整備に充てたほうがよいのではないかと。また、遊歩道から幼稚園の園庭へ出入り口を設置④することにより、幼稚園への通園時間を短縮できるのではないかと意見がありました。

⑧ 設計・工事の期間について

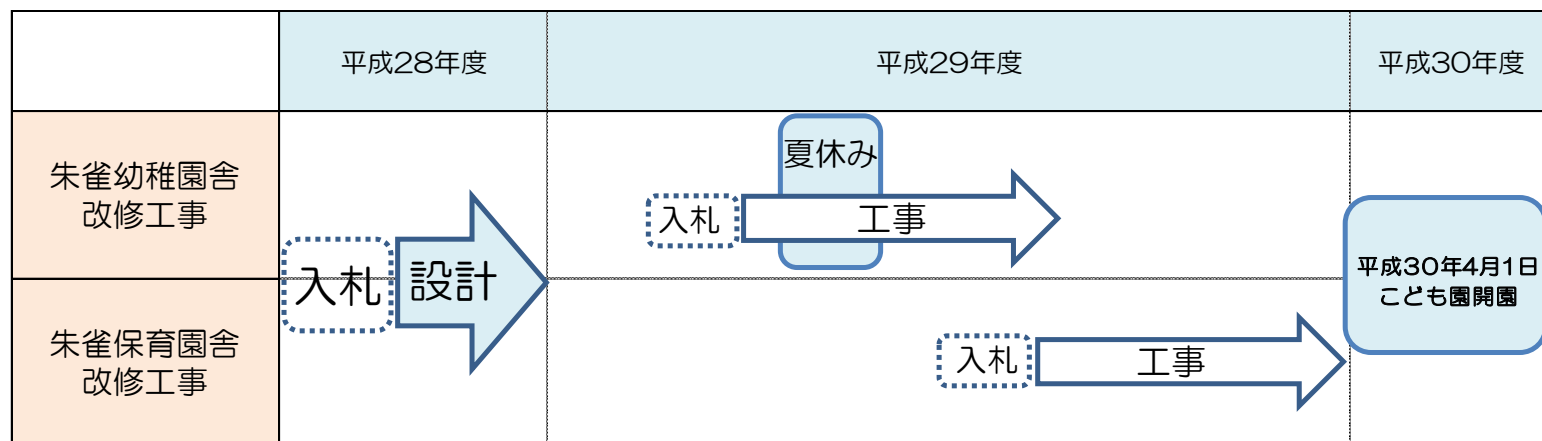
改修工事

市立こども園への移行に向け、平成29年度に朱雀幼稚園舎と朱雀保育園舎の両園舎について、必要な施設改修工事を行います。

工事期間

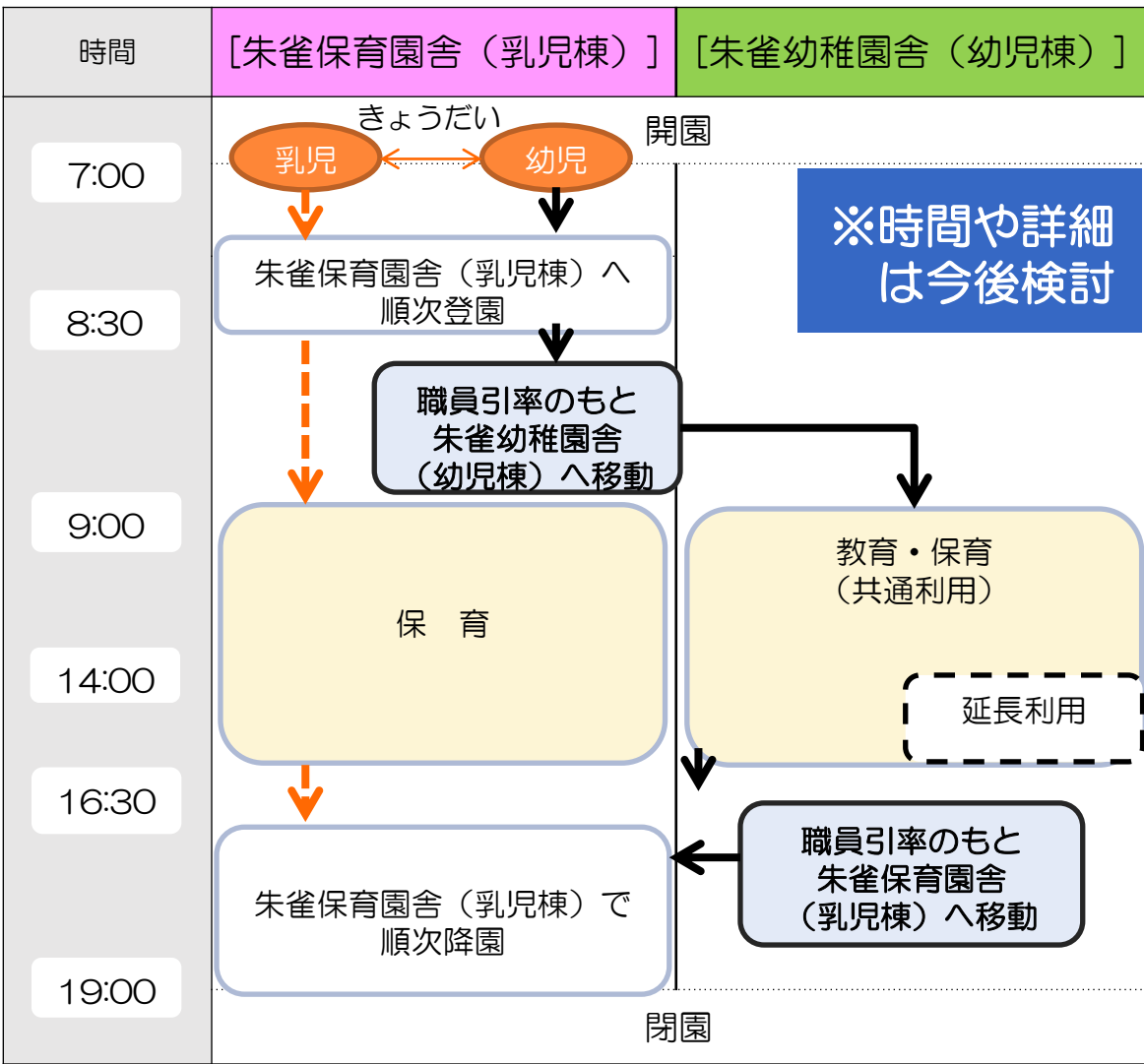
幼稚園舎の改修工事については、夏休み期間を有効に活用した工程を組む予定です。また、保育園舎の改修工事期間中は、園児の安全と保育環境を確保するための臨時措置として、保育園児の一部の幼児については、リニューアルした幼稚園舎での保育の実施を予定しています。なお、以下については現時点でのスケジュールイメージです。今後詳細なスケジュールが決まり次第お知らせさせていただきます。

スケジュールイメージ



⑨ きょうだい関係がある場合の送迎（案）について-Ⅰ

園児の送迎につきましては、基本的にはそれぞれの園舎に送迎していただくこととなりますが、例えばきょうだい関係がある2号認定と3号認定の園児を、両園舎に送迎する必要がある場合に保護者の負担を考え、次のような対応を考えています。



⑨ きょうだい関係がある場合の送迎（案）について-Ⅱ

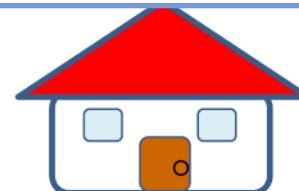
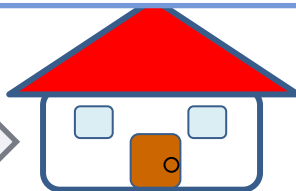
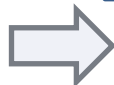
- ① 午前8:30までは朱雀保育園舎（乳児棟）で2・3号認定のきょうだい関係がある園児全員を受け入れます。

※時間は
目安です。

午前8:30まで

朱雀保育園舎（乳児棟）

朱雀幼稚園舎（幼児棟）

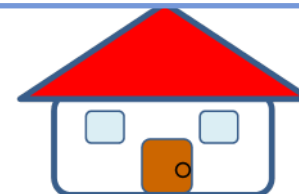
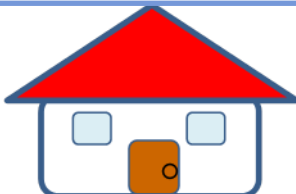


- ② 午前9:00の1・2号認定共通保育時間までに、朱雀幼稚園舎（幼児棟）へ園職員が2号認定の園児を引率し、移動します。

午前9:00まで

朱雀保育園舎（乳児棟）

朱雀幼稚園舎（幼児棟）

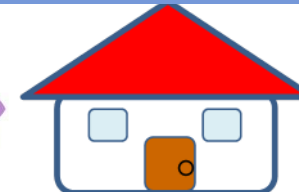
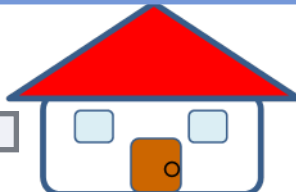


- ③ 午後4:30までに職員引率のもと、2号認定の園児は朱雀保育園舎（乳児棟）へ戻ります。その後朱雀保育園舎へ保護者にお迎えに来ていただきます。

午後4:30まで

朱雀保育園舎（乳児棟）

朱雀幼稚園舎（幼児棟）



⑩ 今後の取り組みについて

- ・行事など園運営に関する具体的なことは、保護者の皆様の声も聞きながら、今後幼稚園と保育園の職員と子ども未来部の職員で検討し、決定していきます。
- ・今後も随時説明会を開催したり、お便りで進捗状況や決定事項について、保護者の皆様にお知らせしていきます。
- ・本日の説明会の内容や、奈良市の取組についてご不明な点があれば、随時お問い合わせください。

子ども政策課の問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課（市役所中央棟3階）

[TEL] 34-4792

[FAX] 34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[幼保再編に関する市ホームページ]

➤<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/00000000000000/1366066836305/index.html>

